



台東区学校教育ビジョンに基づいた 台東区の幼児教育を推進する様々な取組

0歳から15歳までの教育を一体的に推進するのが台東区学校教育ビジョンです。教育ビジョンでは、台東区幼児教育共通カリキュラム「ちいさな芽」を中心に、幼児教育を推進するために様々な施策を展開しています。

教員・保育士の資質・能力の向上 幼児教育専門研修

教員や保育士の教育や保育に関する知識や技能を高めるために、各分野の専門家を講師に招き、各種研修会を実施しています。



幼児教育実技研修(劇遊び)



家庭教育への支援 未就園児支援訪問

各幼稚園で行っている未就園児の会に、教育支援館の教育相談員が訪問し、子育てに対する助言等を行っています。



このほかにも、幼児教育における特別支援教育の推進として、「未就学児のきこえとことばの相談」や「特別支援教育支援員の配置」等を行っています。

幼児教育共通カリキュラムの推進 ちいさな芽実践推進訪問



教育支援館の研修支援専門員が各園を訪問し、保育を参観しながら、教員や保育士の資質・能力の向上のために指導・助言を行っています。

園児の体力の向上 園児の体力向上支援事業

3歳児クラスから5歳児クラスまでに在籍する園児の体力の向上を図るために、運動の指導を専門とする外部講師を各園に派遣して、様々な運動や遊びに親しむ機会を設けています。



こころざし教育の推進 小学校へのかけはし懇談会



就学前の5歳児の保護者を対象に、教育支援館の研修支援専門員が保護者としての心構え等についての講演を行っています。



子供たちの未来を豊かに! 育てよう ちいさな芽

台東区幼児教育共通カリキュラム 3歳児保護者向けリーフレット

幼児教育は、人間として生きるための『根っこ』の部分育てます!

幼児期は、知的にも情緒的にも、また人間関係の面でも大きく成長・発達する時期です。この時期にふさわしい環境の下で、様々な体験を通して、「生きる力」の基礎になる、人としての「根っこ」の部分育てることが大切です。台東区では、人としてたくましく生きるための強い「根っこ」を育てることを目指して、台東区幼児教育共通カリキュラム「ちいさな芽」を策定し、カリキュラムに基づいた幼児教育を推進しています。



台東区の幼児教育の理念

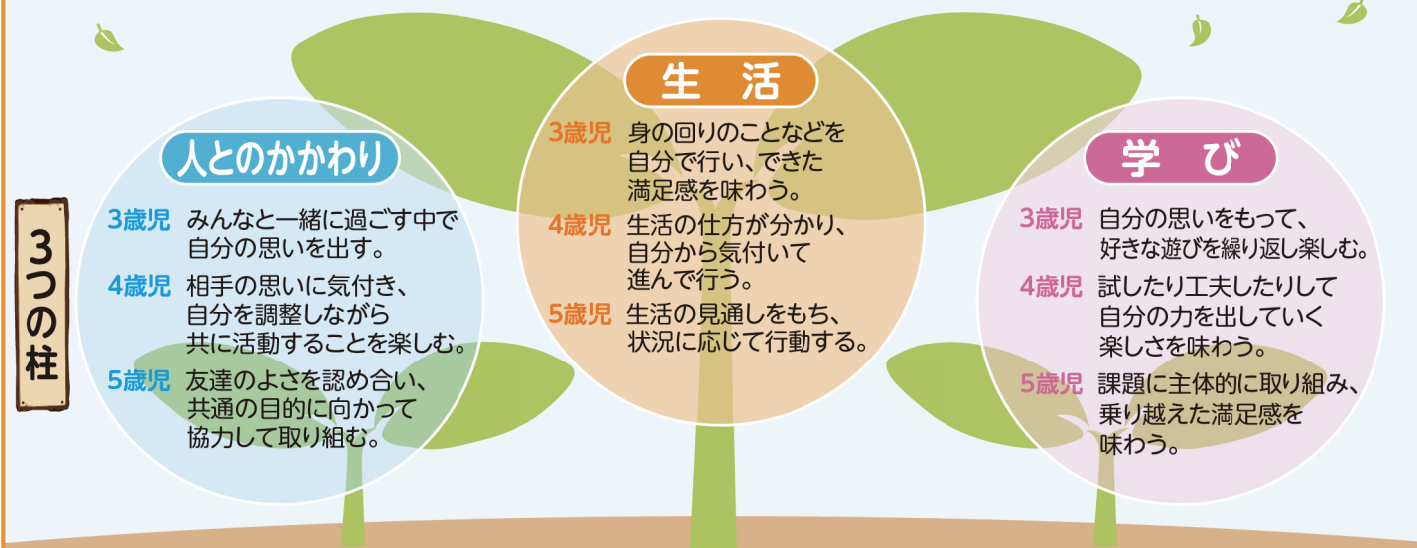
人権尊重の精神に基づき、豊かな生活体験を積み重ねながら、規範意識の芽生えを育て、一人一人のよさと可能性を伸ばしていくことで「生きる力」の基礎を培う。

台東区の幼児教育がめざす子供の姿

- 健やかな心と体をもち、きまりを守り行動できる子供
- やさしさや思いやりの心をもち、友達と協力して物事をやりとげようとする子供
- 自然や身近なことに興味をもち、自ら考え、豊かに表現する子供

「台東区幼児教育共通カリキュラム ちいさな芽」の特徴

- 「健康な心と体で生活できる力」「相手や状況が分かり、楽しく活動し、協力できる力」「自分で考え、意欲的に遊び、学ぶ力」の3つの力を育てます。
- 「生活」「人とのかかわり」「学び」の3つの柱(下記)で指導します。
- 教育課題を重視した6つの取組(下記)を教育・保育に取り入れます。



3つの柱

人のかかわり

- 3歳児 みんなと一緒に過ごす中で自分の思いを出す。
- 4歳児 相手の思いに気づき、自分を調整しながら共に活動することを楽しむ。
- 5歳児 友達のよさを認め合い、共通の目的に向かって協力して取り組む。

生活

- 3歳児 身の回りのことなどを自分で行い、できた満足感を味わう。
- 4歳児 生活の仕方が分かり、自分から気付いて進んで行く。
- 5歳児 生活の見通しをもち、状況に応じて行動する。

学び

- 3歳児 自分の思いをもって、好きな遊びを繰り返して楽しむ。
- 4歳児 試したり工夫したりして自分の力を出していく楽しさを味わう。
- 5歳児 課題に主体的に取り組み、乗り越えた満足感を味わう。

規範意識の芽生えの育成

人と折り合いを付けながらきまりを守る必要性を、体験を通して実感することが大切です。



こころざし教育

人を敬う気持ちや人の役に立つ喜び、やりがいを感じる事が大切です。



食育

楽しく食事をすることやマナーを身に付けること、食べ物への興味・関心をもつことが大切です。



6つの取組

体力の向上

遊びの中で多様な動きを経験し、体を動かす楽しさを味わうことが大切です。



生活習慣・学習習慣の共通化・段階化

遊びや生活の中で、体験を通して学んだり、生活習慣などを身に付けたりしていくことが大切です。



地域財産等の活用

昔話や民話、歴史、伝統と文化に親しみ、地域に愛着をもつことが大切です。

